学齢簿情報の連携に係る標準仕様（就学ユニット用）

APPLIC 一般財団法人全国地域情報化推進協会

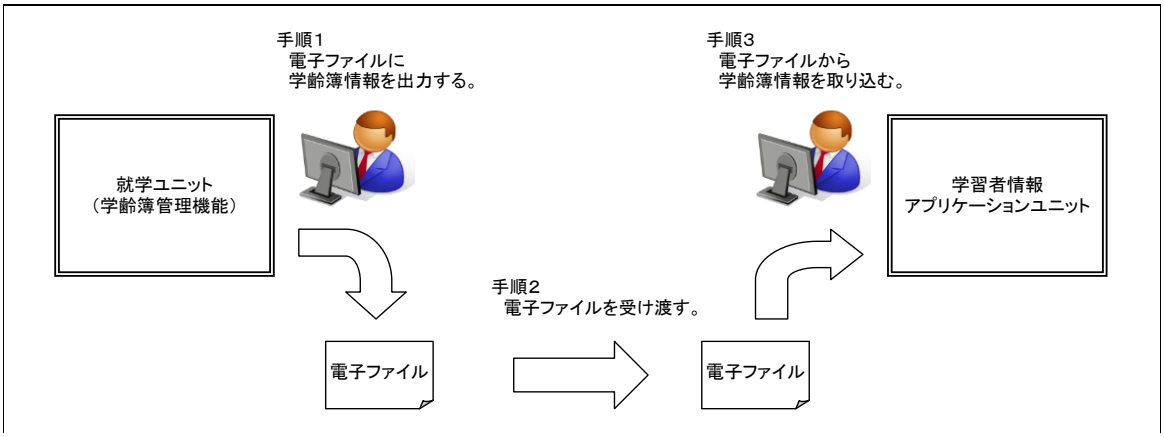
目　次

本書の位置づけ ・・・

本書の位置づけ

本書「学齢簿情報の連携に係る標準仕様（就学ユニット用）」は、自治体業務アプリケーションユニット標準仕様（以下、本誌と呼ぶ）の別冊に位置づけられ、自治体業務アプリケーションユニット標準仕様で規定される就学ユニットの学齢簿管理機能が教育情報アプリケーションユニット標準仕様で規定される学習者情報アプリケーションユニットに対して学齢簿情報を電子データ（XML 形式の電子ファイル）で連携する際の仕様である。

○ 本書が規定する連携のイメージ



○ 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様との関係

本書は本誌では規定していない特別な内容について規定します。
本書では就学ユニットと学習者情報アプリケーションユニットとの間の学齢簿情報の連携に係る以下の内容について規定します。

・学齢簿情報を電子データに出力する機能
・学齢簿情報を電子データで表現する方法（XML スキーマ）

また、本書で規定する内容は、就学ユニットのオプション機能に位置づけられます。

○ 教育情報アプリケーションユニット標準仕様との関係

教育情報アプリケーションユニット標準仕様は学習者情報アプリケーションユニットの仕様について規定します。

※就学ユニットと学習者情報アプリケーションユニットの仕様には、一部、共通する内容があります。
（例、学齢簿情報を電子データで表現する方法（XML スキーマ）、等）
共通する内容は本書に内容が記載されており、教育情報アプリケーションユニット標準仕様では本書の内容を参照しています。

本書の構成

本書の構成は、表1に示す通りです。

表1 本書の構成内容

項番	ドキュメント名	内容	資料番号
1	標準仕様の読み方	項番2～4の標準仕様の読み方をまとめたもの	業務1－1
2	機能一覧	業務ユニットが提供する機能を一覧形式にて説明したもの	業務1－4
3	データ一覧	業務ユニットが所管するデータの中で、他の業務ユニットにデータ連携されるものを集約化したもの	業務1－8
4	インタフェース一覧	業務ユニットが情報を提供するためのインターフェースを定義したもの	業務1－9
5	XMLスキーマ	項番3のデータ一覧に従い生成したXMLスキーマ	業務1－10

(*1) 資料番号は自治体業務アプリケーションユニット標準仕様（以下、本誌と呼ぶ）の資料番号に倣ったものである。

(*2) 「業務1－8　データ一覧」「業務1－9　インタフェース一覧」「業務1－10　XMLスキーマ」は本誌と位置づけが異なる。本誌ではSOAPのサービス呼出しに関する内容であるが、本書では XML 形式の電子ファイルに関する内容である。

(*3) 本書では上記以外のドキュメントは規定しない。上記以外の内容は本誌の規定に準ずる。

以　上

資料No.「業務1－1」

学齢簿情報の連携に係る標準仕様（就学ユニット用）【標準仕様の読み方】

APPLIC 一般財団法人全国地域情報化推進協会

目　次

本書の位置づけ ・・・

本書の位置づけ

本書「学齢簿情報の連携に係る標準仕様（就学ユニット用）【標準仕様の読み方】」は、同標準仕様に記載された以下の資料に関する説明を示したものである。

資料No.	資料名称
業務1－4	機能一覧
業務1－8	データ一覧
業務1－9	インタフェース一覧
業務1－10	XMLスキーマ

1. 機能一覧

（1）概要

機能一覧は、業務ユニットに含まれる機能を定義し、その機能の内容を説明したものである。

（2）記載イメージ

（※記載イメージは、自治体業務アプリケーションユニット標準仕様（以下、本誌と呼ぶ）と同一。
詳細は、本誌を参照。）

（3）補足事項

・本書の機能一覧には、本誌で規定された機能も記載している。

2. データー覧

（1）概要

データー覧は、業務ユニットが所管するデータの中で、他業務ユニットとデータ連携で提供する情報を、集約し明確化したものである。

（2）記載イメージ

（※記載イメージは、本誌と同一。詳細は、本誌を参照。）

（3）補足事項

・コード名、データ型等は本誌に準ずる。

3. インタフェース一覧

（1）概要

インタフェース一覧は、業務ユニットが情報を提供するためのインタフェースを定義したもので、入力・出力を定義したインタフェース一覧と、その中のメッセージ名から関連づけられたメッセージ定義から成る。

（2）記載イメージ

（※記載イメージは、本誌と同一。詳細は、本誌を参照。）

（3）補足事項

・コード名、データ型等は本誌に準ずる。

4. XMLスキーマ

（1）概要

XML スキーマは、データー覧及びインタフェースー覧をもとにXML形式に変換したものである。

以　上

資料No.「業務1－4」

学齢簿情報の連携に係る標準仕様（就学ユニット用）【機能一覧】

APPLIC
一般財団法人全国地域情報化推進協会

目　次

本書の位置づけ ・・・

本書の位置づけ

本書「学齢簿情報の連携に係る標準仕様（就学ユニット用）【機能一覧】」は、業務ユニットに含まれる機能を定義し、その機能の内容を説明したものである。

機能は階層構造で定義されており、最下位の機能レベルは、一般的な機能の単位としての機能を、上位の機能レベルは、下位レベルの機能をグループ化したものである。

業務ユニットを実装するにあたっては、本機能一覧と階層構造は異なっていてもよいが、少なくとも最下位レベルで定義された機能を持つことが必要である。

<<準拠ルール>>

： 業務ユニットは、本機能一覧で定義される、最下位レベルの各機能を持つこと。
なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっていてもよい。（必須）［1.4］

機能一覧	業務名
	就学

機能（レベル０１）	機能（レベル０２）	機能説明
20.1 学齢簿管理	20.1.1 新就学者登録	住民基本台帳より、新就学者の登録を学齢簿に行う。 学齢簿にある小学校、中学校、義務教育学校の生徒の情報を修正する。
	20.1.2 学齢簿異動	保護者の変更や年度途中での転学等の情報修正を行う。
20.2 発行	20.2.1 通知書出力	新就学者に対する通知書や健康診断の案内を通知する。
	20.2.2 名簿出力	庁内保管用の学齢簿を出力する。
	20.2.3 学齢簿情報出力	庁内連絡用の学齢簿情報（電子データ）を出力する。
	20.2.4 成人式案内出力	住民基本台帳より、新成人に対する成人式の案内状を送付する。
20.3 就学援助	20.3.1 支給額決定	庁内において、小学校・中学校・義務教育学校別の各支給費の決定をおこない、それらの情報を入力する。 （学用品費、給食費、通学費、医療費、新入学学用品費、校外活動費、修学旅行費、クラブ活動費、体育実技用具費）
	20.3.2 申請	住民の新規、継続、追加、特例による申請処理を行う。
	20.3.3 認定	各申請に対し認定結果の処理を行う。 （要保護者、準要保護者、特殊教育奨励者の区別と決定された支給内容の処理）
	20.3.4 支給	認定された内容による支給処理を行う。 また、その際に必要となる口座情報の管理を行う。
	20.3.5 統計・報告	都道府県に対して、支給予定額表や支給額及びその内訳表等を送付する。
	20.3.6 情報提供	他業務が参照する必要のある情報を提供する。

資料No.「業務1－8」

学齢簿情報の連携に係る標準仕様（就学ユニット用）【データー覧】

一般財団法人全国地域情報化推進協会

目　次

本書の位置づけ ・・・

本書の位置づけ

本書「学齢簿情報の連携に係る標準仕様（就学ユニット用）【データー覧】」は、業務ユニットが所管するデータの中で、他業務ユニットとデータ連携で提供する情報を、集約し明確化したものである。 業務ユニットは、ここで定義するデータを、提供側の業務ユニットとして、利用側の業務ユニットに対して提供できることが必要である。

<<準拠ルール>>
： 各業務ユニットは、本データー覧にて定義されたデータ項目を、利用側の業務ユニットに対して提供できること。（必須） [1.8]

データー覧	業務ユニット名：就学

NO	情報名				キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
								CD	コード名	最小	最大		
1	学齢簿情報									0	N		
2		異動変更区分				X	2	○	学齢簿異動変更区分	1	1		学齢簿情報の異動変更の種類を表す区分
3		異動変更年月日				日付情報				1	1		学齢簿情報に異動変更が発生した日
4		児童生徒情報								1	1		
5			識別番号		○	X	15			1	1		自治体内で人を統一的に管理する番号
6			世帯番号			X	15			1	1		世帯を管理する番号
7			氏名			氏名情報				1	1	○	児童生徒の氏名
8			住所			住所情報				1	1	○	児童生徒の住所
9			性別			X	1	○	性別	1	1		児童生徒の性別
10			生年月日			生年月日情報				1	1		児童生徒の生年月日
11			学年			9	2			1	1		児童生徒の学年（就学予定者は0学年として扱う）
12			小学校区			X	3	○	学齢簿小学校区	0	1		自治体内で定める小学校の学校区
13			中学校区			X	3	○	学齢簿中学校区	0	1		自治体内で定める中学校の学校区
14			援助区分			X	1	○	有無	1	1		就学援助の有無
15			学級区分			X	1	○	学齢簿学級区分	1	1		普通学級、特別支援学級の別
16		保護者情報								1	1		
17			識別番号			X	15			1	1		自治体内で人を統一的に管理する番号
18			氏名			氏名情報				1	1	○	保護者の氏名
19			住所			住所情報				1	1	○	保護者の住所

データー覧	業務ユニット名：就学

NO	情報名				キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
								CD	コード名	最小	最大		
20			電話番号			X	20			0	1		保護者の電話番号
21			児童生徒との続柄			続柄情報				1	1		児童生徒との続柄
22		身元引受情報								0	1		
23			識別番号			X	15			1	1		自治体内で人を統一的に管理する番号
24			氏名			氏名情報				1	1	○	身元引受人の氏名
25			住所			住所情報				1	1	○	身元引受人の住所
26			電話番号			X	20			0	1		身元引受人の電話番号
27			児童生徒との関係			N	30			1	1		児童生徒との関係
28		小学校情報								0	1		
29			学校区分			X	1	○	学齢簿学校区分	1	1		学校の自治体内外、特別支援学校等の別
30			学校名			N	40			1	1		学校の名称
31			入学年月日			日付情報				0	1		入学した日
32			転入学年月日			日付情報				0	1		転入学した日
33			編入学年月日			日付情報				0	1		編入学した日
34			卒業年月日			日付情報				0	1		卒業した日
35			転学年月日			日付情報				0	1		転学した日
36			退学年月日			日付情報				0	1		退学した日
37			区域外就学情報							0	N		
38				開始年月日		日付情報				1	1		区域外（指定校変更）就学を行う開始日

データー覧	業務ユニット名：就学

NO	情報名				キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
								CD	コード名	最小	最大		
39				終了年月日		日付情報				0	1		区域外（指定校変更）就学を行う終了日
40				理由		N	30			1	1		区域外（指定校変更）就学の理由
41			指定外就学情報							0	N		
42				開始年月日		日付情報				1	1		指定外（国立、私立、自治体外公立等）就学を行う開始日
43				終了年月日		日付情報				0	1		指定外（国立、私立、自治体外公立等）就学を行う終了日
44				理由		N	30			1	1		指定外（国立、私立、自治体外公立等）就学の理由
45			就学の督促情報							0	N		
46				督促年月日		日付情報				1	1		督促を行った年月日
47				督促内容		N	30			1	1		督促の内容
48			就学の猶予免除情報							0	N		
49				開始年月日		日付情報				1	1		猶予免除が適用される開始日
50				終了年月日		日付情報				0	1		猶予免除が適用される終了日
51				理由		N	30			1	1		猶予免除の理由
52		中学校情報								0	1		
53			学校区分			X	1	○	学齢簿学校区分	1	1		学校の自治体内外、特別支援学校等の別
54			学校名			N	40			1	1		学校の名称
55			入学年月日			日付情報				0	1		入学した日
56			転入学年月日			日付情報				0	1		転入学した日
57			編入学年月日			日付情報				0	1		編入学した日

データー覧	業務ユニット名：就学

NO	情報名				キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
								CD	コード名	最小	最大		
58			卒業年月日			日付情報				0	1		卒業した日
59			転学年月日			日付情報				0	1		転学した日
60			退学年月日			日付情報				0	1		退学した日
61			区域外就学情報							0	N		
62				開始年月日		日付情報				1	1		区域外（指定校変更）就学を行う開始日
63				終了年月日		日付情報				0	1		区域外（指定校変更）就学を行う終了日
64				理由		N	30			1	1		区域外（指定校変更）就学の理由
65			指定外就学情報							0	N		
66				開始年月日		日付情報				1	1		指定外（国立、私立、自治体外公立等）就学を行う開始日
67				終了年月日		日付情報				0	1		指定外（国立、私立、自治体外公立等）就学を行う終了日
68				理由		N	30			1	1		指定外（国立、私立、自治体外公立等）就学の理由
69			就学の督促情報							0	N		
70				督促年月日		日付情報				1	1		督促を行った年月日
71				督促内容		N	30			1	1		督促の内容
72			就学の猶予免除情報							0	N		
73				開始年月日		日付情報				1	1		猶予免除が適用される開始日
74				終了年月日		日付情報				0	1		猶予免除が適用される終了日
75				理由		N	30			1	1		猶予免除の理由
76		転校暦情報								0	N		

データー覧	業務ユニット名：就学

NO	情報名				キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
								CD	コード名	最小	最大		
77			履歴番号			X	2			1	1		転校暦情報で一意の履歴番号 （最も古い履歴が00から始まり、1ずつ加算）
78			小学校情報							0	1		
79				学校区分		X	1	○	学齢簿学校区分	1	1		自治体内外、特別支援学校等の別
80				学校名		N	40			1	1		学校の名称
81				開始年月日		日付情報				1	1		入学、転入学、編入学した日
82				終了年月日		日付情報				0	1		卒業、転学した日、退学した日
83				異動区分		X	2	○	学齢簿異動区分	1	1		異動の種別を表す区分
84				異動事由		N	30			1	1		異動の理由（例　転入の場合“○○市立△△小学校より転入”、退学の場合“海外転学のため”）
85			中学校情報							0	1		
86				学校区分		X	1	○	学齢簿学校区分	1	1		自治体内外、特別支援学校等の別
87				学校名		N	40			1	1		学校の名称
88				開始年月日		日付情報				1	1		入学、転入学、編入学した日
89				終了年月日		日付情報				0	1		卒業、転学した日、退学した日
90				異動区分		X	2	○	学齢簿異動区分	1	1		異動の種別を表す区分
91				異動事由		N	30			1	1		異動の理由（例　転入の場合“○○市立△△小学校より転入”、退学の場合“海外転学のため”）

資料No.「業務1－9」

学齢簿情報の連携に係る標準仕様（就学ユニット用）【インタフェース一覧】

APPLIC
一般財団法人全国地域情報化推進協会

目　次

本書の位置づけ ・・・

本書の位置づけ

本書「学齢簿情報の連携に係る標準仕様（就学ユニット用）【インタフェース一覧】」は、業務ユニットが情報を提供するためのインタフェースを定義したもので、入力・出力を定義したインタフェース一覧と、その中のメッセージ名から関連づけられたメッセージ定義から成る。

各業務ユニットはこのインタフェースを実装することが必要である。

〈〈準拠ルール〉〉

：　各業務ユニットは、本インタフェース一覧で規定されている、各業務ユニットのデータ連携インタフェースを持つこと。（必須）［1.9］

インタフェース一覧	業務ユニット名：就学

インタフェース番号	入出力		メッセージ定義	定義ファイル
20-1	入力	（※利用しない）	（※利用しない）	lgxml20s-2022-01.xsd
	出力	利用業務ユニット 学齢簿情報 送信日時	学齢簿情報メッセージ	
	入力			
	出力			
	入力			
	出力			
	入力			
	出力			
	入力			
	出力			
	入力			
	出力			
	入力			
	出力			
	入力			
	出力			
	入力			
	出力			
	入力			
	出力			
	入力			
	出力			
	入力			
	出力			

メッセージ定義	メッセージ定義名：学齢簿情報メッセージ

NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニットの業務ユニット番号
2	学齢簿情報			学齢簿情報				1	N		学齢簿
3	送信日時			X	25			1	1		メッセージを送信した日時（ISO8601の年月日時間形式（YYYY-MM-DDThh:mm:ss+09:00））